全教職員配布

道徳のかけ橋

令和元年11月1日発行
第　２１　号
福島県教育庁
義務教育課

中学校においても道徳科の授業改善と充実が進んでいます。

今年度より、中学校においても道徳が教科化され、学校訪問等において授業研究等が盛んに行われています。授業研究においては、小学校同様、中学校においても「物事を多面的・多角的に考える」「道徳的価値の理解を基に自己を見つめる」といった道徳科の特質が大切にされ、道徳科の指導と評価の一体化に向けた取組が着実に進んでいます。

本号では、玉川村立泉中学校の要請訪問で行われた、第３学年道徳科授業の概要及び工夫した点や有効な手立てにふれ、そのよさを紹介します。御自身の授業実践の参考にしてください。

玉川村立泉中学校　第３学年２組の授業実践
〈指導者:吾妻　理香　教諭〉

主題名　自分の生活を見直して　【Ａ－（２）節度、節制】

ねらい　心情円を使って、自分の考えを可視化し、自分事として深く考える活動を通して、自分の欲望に負けず、正しい行動を行おうとする心情を育てる。

教材名とあらすじ

「スマホに夢中！」（「新しい道徳」　東京書籍）

主人公の奈美恵は、友だちとのメッセージのやりとりを優先し、スマートフォンに夢中になってしまう。弟や母の忠告があったにもかかわらず、自らの欲望を抑えて自己を統制することができずに、駅のホームへ続く階段を踏み外してしまう。この出来事の結末は書かれていないが、このことをきっかけにして、奈美恵は自らの行いを振り返り、安全で調和のとれた生活について考えていくことになる。

授業改善が図られているポイント

A　「何を学ぶのか」を明確にし、絞り込まれた発問によって学習活動を焦点化しています。

B　思考を可視化し、考えの根拠に目を向けさせ、自分との関わりで考えを深めさせています。

C　教師のコーディネートにより生徒に自分を振り返らせ、自己の生き方・考え方を見つめさせています。

授　業　の　実　際

◎　スマホやゲーム、タブレットなどの通信機器をもっている人がどれくらいいるのかを確認する。

Ｔ：　スマホやゲーム、タブレットを持っている人はいますか。
　→　持っていないと答えた生徒は３名。
Ｔ：　では、自由に使えるスマホを持っている人はいますか。
　→　半分程度の生徒が持っていると答える。
Ｔ：　今日は、「スマホ」に関する資料を使って学習します。

A　導入で、自分たちの生活について問いかけることにより、本時の学習を「自分事」として考えられるようにしています。

◎　資料「スマホに夢中！」をもとにスマホの正しい使い方について考える。

（１）奈美恵のスマホの使い方について考える。
Ｔ：　奈美恵のスマホの使い方で、正しくないのはどんなところですか。
Ｃ：　歩きスマホをしている。
Ｃ：　夜遅くまで使っている。
（２）スマホの正しい使い方について考える。

Ｔ：　スマホを正しく使うとはどういうことなのだろう。
Ｃ：　ＴＰＯをわきまえて使った方がいい。
Ｃ：　周りの人に迷惑をかけないように使う。

◎　通信機器の正しい使い方がわかっているのに、正しく使えない時があるのはなぜかを考える。

Ｔ：　スマホなどの通信機器の正しい使い方を、理解している人は手を挙げてください。
→　全員が手を挙げる。
Ｔ：　では、みなさんは、通信機器をいつも正しく使っていますか。心情円で表してみよう。
（正しく使える･･･赤、正しく使えない･･･青）
→　半分程度「青」になっている生徒が多い。「赤」を１００％とした生徒はいない。

Ａ　「問題解決的な学習」の展開となるように、資料を基にしながら、自分の生活の課題について考えさせています。
Ｂ　心情円を使って自分の考えを可視化することで、自分事としてより深く考えられるようにしています。

Ｔ：　正しい使い方がわかっているのにどうしてできないんだろう。ワークシートに自分の考えを記入しよう。
Ｃ：　自分に厳しくなれないから。
Ｃ：　「やりたい」という欲に負けてしまうから。
Ｃ：　危険な目に遭ったことがないから、ダメなことに気づいていない。
Ｔ：　それぞれの考えを持ち寄って、グループで交流しましょう。話合いの中で出された意見をホワイトボードに書いて黒板に貼りましょう。
→　ある班の話合いの様子
Ｃ：　自分に甘えてしまうからじゃないかな。
Ｃ：　他の人がやってるとついつい、甘えちゃうよね。
Ｃ：　それって自分の弱い心に負けているってことだよね。　《話合いは続く》
Ｔ：　いろいろな意見が出ましたね。Ａ班の「自分に甘える」ってどういうことですか。
Ｃ：　やりたいという欲に負けてしまうということです。
Ｃ：　なあなあになってしまうことだと思います。
Ｃ：　そもそも、自分には弱い心があるから、だめだとわかっていても続けてしまうと思う。　《略》

Ｃ　本時のねらいに関わる意見を取り上げ、問い返しをすることによって、「強い意志」をもつことの大切さや難しさを感じ取れるようにしています。

◎　これまでの自分を振り返り、これからの自分はどうしていきたいか考える。

Ｔ　今までの自分を振り返って、そして、これからの自分はどうしていきたいかを書きましょう。

【生徒のワークシートから】
○　今はまだ、スマホは持っていないけれど、これから持つようになったときは今日の学習を生かして、正しく使えるようにしていきたいと思う。
○　これからの自分は、今までよりももっと、自分に厳しくなって、弱い気持ちの自分に勝たなくてはならない。

【本時の板書】

場面絵を活用し、資料の内容が一目でわかるようになっていて、中心発問について考える時間や自己を振り返る時間を十分に確保することができました。また、生徒の考えをホワイトボードに書かせて掲示することにより、生徒の考えを全体で比較したり、共有したりすることができるようになっています。